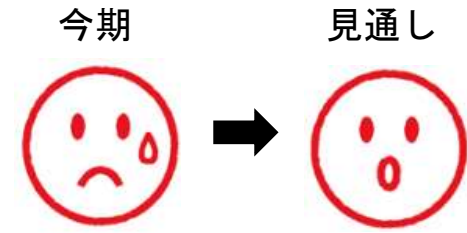
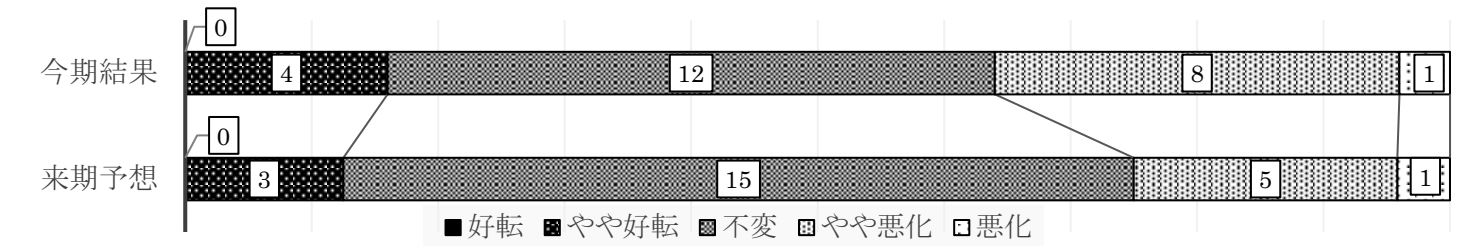
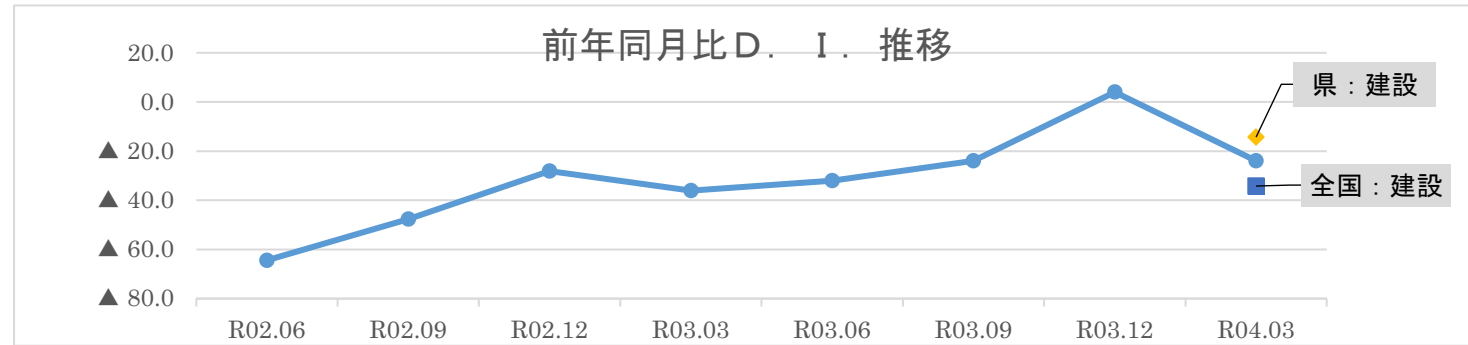


建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移
 新型コロナウイルスの影響により、住宅資材や原材料の高騰と納品遅れが生じ、工期も遅れている。事業復活支援金を活用して資金繰りの緩和を行っている状況にある。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

まん延防止等重点措置の発令と延長により、自宅に外部の人を招く機会が減少しているため、個人顧客の需要が低迷している。また、原材料の高騰と資材不足が続いており、工期遅れが生じているため、資金繰り難の事業所が見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

受注量は回復傾向にあるが、建築資材など材料費の高騰、仕入れ遅延、納期遅れ等により売上に影響を及ぼし、資金繰り難の状況が続くと思われる。

■全国の景気動向

豪雪による除雪作業で、対前年比を上回る売上高の事業者が増加した。また、年度末の公共工事による売上の増加が見られた。しかし、木材に続き、陶器・金属類（鉄・アルミ等）の原材料や半導体不足等の影響のため機器・設備が入手難となり、顧客への引き渡しが遅れている。加えて、原油価格の高騰により、重機等に使用する燃料代の負担も増加している。

■県下の景気動向

材料の価格高騰とウクライナ情勢による原油価格等の高騰の影響を受けたため、業況は悪化しているが、年度末の公共工事や、少しずつ住宅の修繕や増築等の受注が増えてきているため、緩やかに改善していくと思われる。

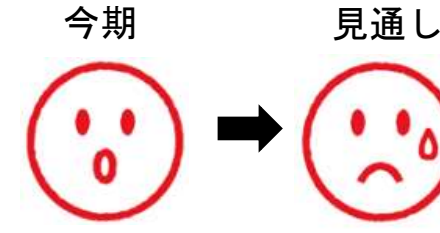
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	0	2	1	0	5	20.0%
不変	1	3	0	1	2	2	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	8	1	1	0	0	11	44.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

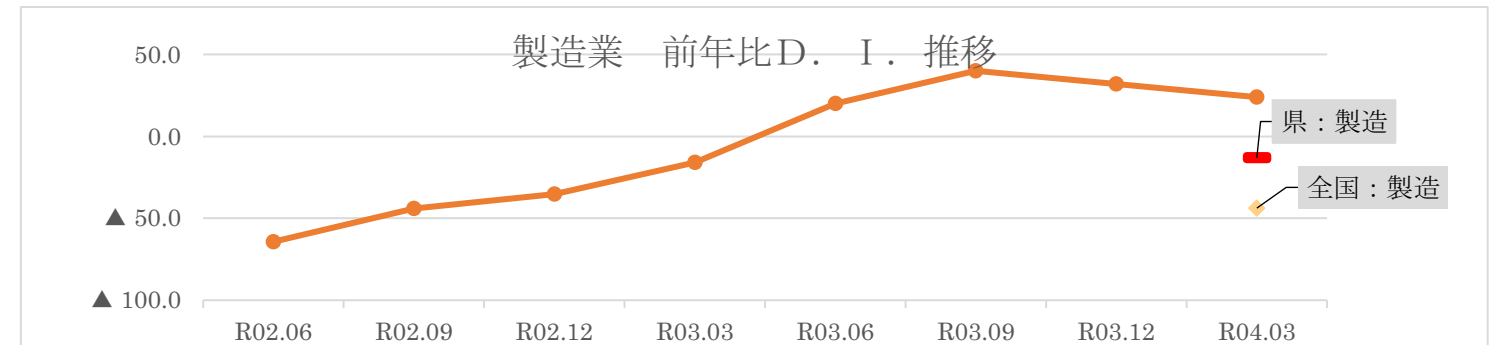
製造業

回答率：100% (25/25)

2022年1月～3月期調査



■丹波市の景況推移
 製造業全般において原材料の不足、原材料の価格高騰が継続的に発生しており、製造コストを押し上げている。先行きを不安視している事業所が多く見受けられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

製造業全般においてあらゆる材料の価格が高騰しており、また、発注後の納品等の遅れが生じている。自動車関連ではメーカーの生産がストップするなど、コロナ禍による市場停滞と材料の高騰の影響を受け厳しい景況感である。

取引先での内製化も進み、他社への外注が減少傾向にある。

【丹波市の来期の景況予想】

継続的に原材料不足・高騰が続き、採算が悪化していくことを懸念している事業所が多く存在している。原材料等の上昇等、製造コストが大きく増加しており、収益が圧迫していくと思われる。

■全国の景気動向

食料品関連は飲食店向けの業務用商品の売上が改善傾向にあるものの、小麦・油等の物価高騰の影響で採算は厳しくなっている。繊維業では、生糸等の値段が高騰し採算が悪化している。機械・金属業は、半導体製造装置関連での引き合いが多いが、仕入部品の入荷遅れにより生産が滞っている状況が続いている。原材料高騰に加え最低賃金等の上昇等で、製造コストが大きく増加している。

■県下の景気動向

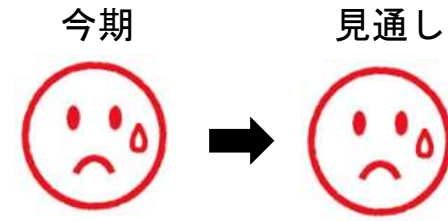
全体的に業況は改善しているものの、原材料不足・高騰が継続的に発生しており、来期以降について不安視する声がある。価格高騰で利益の圧迫により業績が低迷していくことが懸念される。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	5	2	2	1	2	12	48.0%
不変	2	1	2	1	1	0	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	1	0	1	1	6	24.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

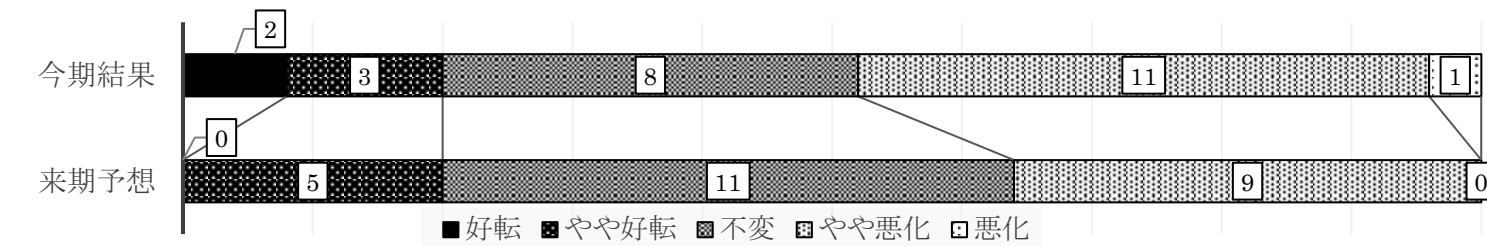
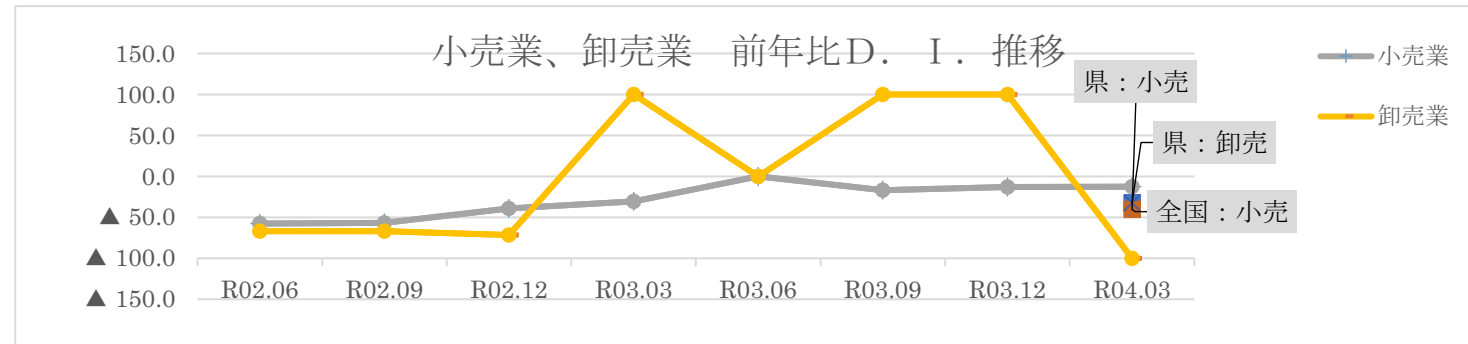
小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

移動制限のない大型連休を迎え、帰省や観光客の増加による需要拡大を期待する声はあるものの、原油価格の高騰が幅広い商品や材料の値上げに繋がるなど、コロナ感染症以外の不安要素も大きい。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

まん延防止等重点措置期間が継続する中、巣ごもり需要から食料品類は比較的安定した状況が続いていた。一方、燃料小売業は不安定な国際情勢の影響を受け、仕入単価が高騰し収益を圧迫する状況が続いている。また半導体不足の状況も継続しており、家電や自動車関連業種の販売にブレーキがかかるなど、今期も改善の傾向は見られなかった。

【丹波市の来期の景況予想】

移動制限のかからない大型連休を迎え、帰省や観光客の増加による需要拡大を期待する声はあるものの、原油価格の高騰が幅広い商品や材料の値上げに繋がるなど、コロナ感染症以外の不安要素も大きい。競合店舗の動向を窺いながら、値上げ商品の選定や値上げのタイミングなど難しい判断を迫られる状況となっている。

■全国の景気動向

まん延防止等重点措置が解除され、『繊維製品・服飾小物』『医薬品』等の売行きが大きく改善した。一方、燃料小売業では3カ月連続の悪化。不安定な国際情勢の影響を大きく受ける形となっている。今後深刻なのが『生鮮小売』。ロシア産の水産原料を確保できるかが非常に不透明な状況となっている。

■県下の景気動向

売上が伸び悩む中、仕入単価や光熱費の相次ぐ値上げにより、採算や資金繰りが悪化傾向である。また、3月に受注が多いイベント（卒業や異動）などの大型需要も、年々ネット通販での購入に流れており、店頭販売は低調。

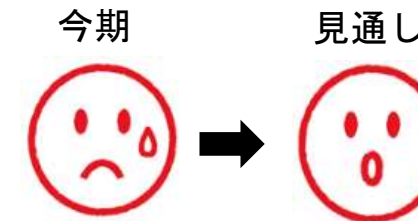
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	2	0	2	0	0	7	28.0%
不変	0	3	0	0	2	2	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	4	1	2	1	0	11	44.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

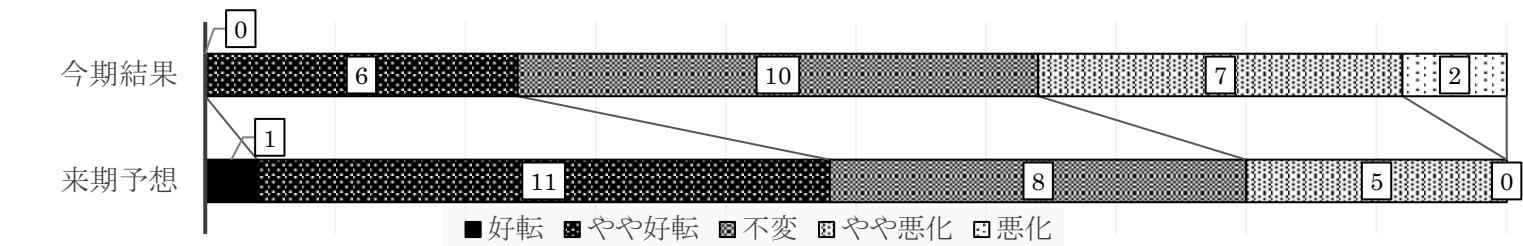
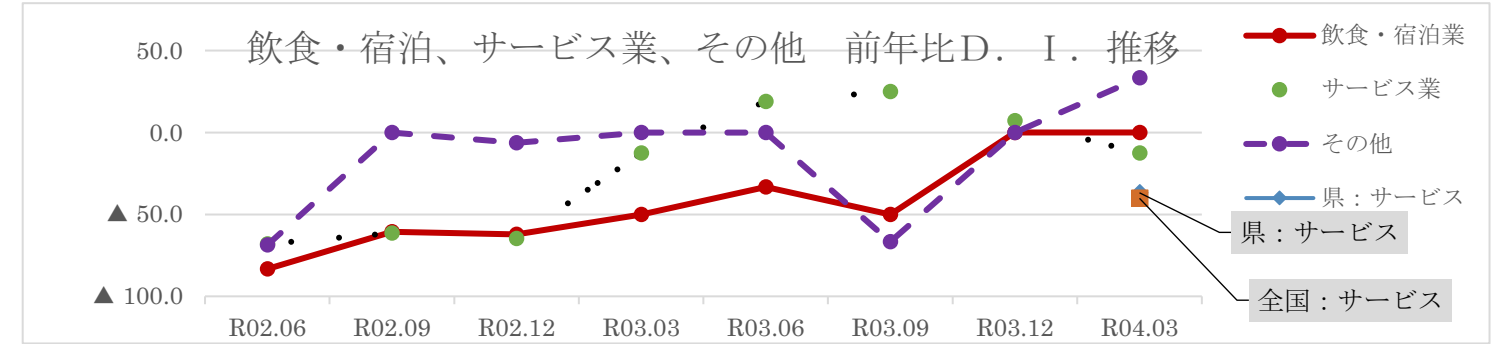
回答率：100% (25/25)

2022年1月～3月期調査



■丹波市の景況推移

まん延防止等重点措置の発出により、再び経済活動の停滞や低迷が発生し、消費マインドが低下。ただ、来期以降は回復を期待する声が飲食業や観光産業では多い。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

飲食業や観光産業はまん延防止等重点措置の影響により消費機会が減少し、売上が低迷している。自動車整備業や運送業に関しても原油価格の高騰により採算が悪化し、部材や納車が遅延するなど、サプライチェーンの影響を継続的に受けている。また、新車の納車遅延の影響から中古車市場は活況であり、価格の上昇が見受けられる。

【丹波市の来期の景況予想】

まん延防止等重点措置の解除に伴い、消費マインドの回復、飲食業や観光産業の回復が期待されている。一方で原油価格の高騰は継続的に続いており、また、経費についても上昇していることから価格改定や新たな事業転換を図るなどの検討時期にもきており、先行きは不透明な点も多く残る。

■全国の景気動向

まん延防止等重点措置により、観光、飲食等で人流の抑制で消費マインドが低迷している。また、原油価格の高騰により石油製品や燃料の上昇、関連して経費についても上昇が続いている状況で採算が悪化しており、価格に転嫁できていないケースも見受けられる。ただ、今後はまん延防止等重点措置の解除に伴い明るい兆しも見え始めている。

■県下の景気動向

県下のサービス業種でも業況DIはまん延防止等重点措置、経費等の高騰により悪化している。また、外出自粛要請に伴い、消費マインドの低迷が再度発生し、飲食業界では団体やグループでの宴会は以前と変わらず、実施を敬遠している事業所が多く、全体的にコロナの影響は継続している。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	2	0	1	0	6	24.0%
不変	3	3	1	3	1	1	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	3	1	1	1	0	7	28.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%